

療育研修会

徳島 支部

◆テーマ 筋次口呼吸器患者の人工呼吸器講習

医師 講師 宮崎 達志

徳島病院は、前副院長多田雅晴氏(小児科医)が1995年に人工呼吸器を導入し、17年目を迎えている。現在(平成24年7月)、筋次病棟(小児科棟)に患者44人が入所(中、呼吸器25人、その他19人)中、約30%、60人が人工呼吸器を使用しており、90%が連続している。人工呼吸器の活用により、寿命も大幅に延びており、QOLの向上も大切。前副院長の早稲田や木下氏ら病棟のスタッフより電動車椅子への人工呼吸器の装着により行動範囲の拡大やQOLの向上に役立っている。一方、沖野氏や川口氏等の報告も数多くあり、患者、家族が共に学ぶ学習が必要だと感じている。

◆テーマ 筋次口呼吸器患者の人工呼吸器講習(2)

臨床工学士 講師 西村 卓

人工呼吸器は、精密な機械で、毎日連続して使用する患者の生命に直結する重要な機器。

筋次病棟入所者の約20%の患者が装着し、機種も多様である。

アソビ音への対応、メッセージの確認、院時では医師や看護師の対応が必要で、外出時等には、家族や介護者が対応が必要である。

定期的に帰省される患者の家の入浴時等、アンローズバックの使用は家族が必要である。院外に外出する場合、補助バッテリーや予備機器の準備も必要である。アンローズバックは常備し、患者と家族が定期的な練習が必要である。

療育研修会実施状況

徳島支部

参加数 48

テーマ ◆筋ジストロフィー患者の人工呼吸器講習

◆筋ジストロフィー患者の人工呼吸器講習
—実技講習—

講師 医師 宮崎 達志

臨床工学士 西村 卓

実施場所 徳島病院 筋ジストロフィー病棟 食堂



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

人工呼吸器が筋ジストロフィー患者の生命維持に欠かせないもの
になっています。その導入により、患者の寿命も10年程延びていると言
われています。QOLの向上がいつも大きな課題になっていますが、徳島病院
では、これまでにスタッフの方々のご尽力により、早くから電動車椅子
に人工呼吸器を装着するための研究をされ、実現を果され、電動車
椅子メーカー等の活動にもつながり、患者様の大きな生きがいに
なっていることを感謝したいと思っております。

今年は、慶応大学の計画停電の心配もあり1年になりました。

今回、研修を受け改めて外出時の予備バッテリーや充電器、予備バック
袋の備えとともに、万一時の家族がおちつめ対応できるようには研修
小冊子からポイントを着感しました。